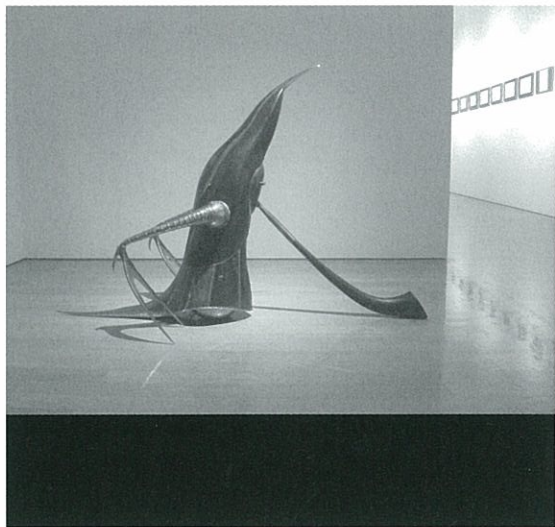


首藤 晃 —再生—

Rebirth Tomakomai City Museum Court installation Vol.03



《その時を待つ》2011年 150×50×130(cm) 鉄、木

「中庭展示—Court installation—」は、各年度2名の作家を招聘し、当館の中庭スペースにおいて、その空間を活用した作品を個展形式により紹介するシリーズ企画です。

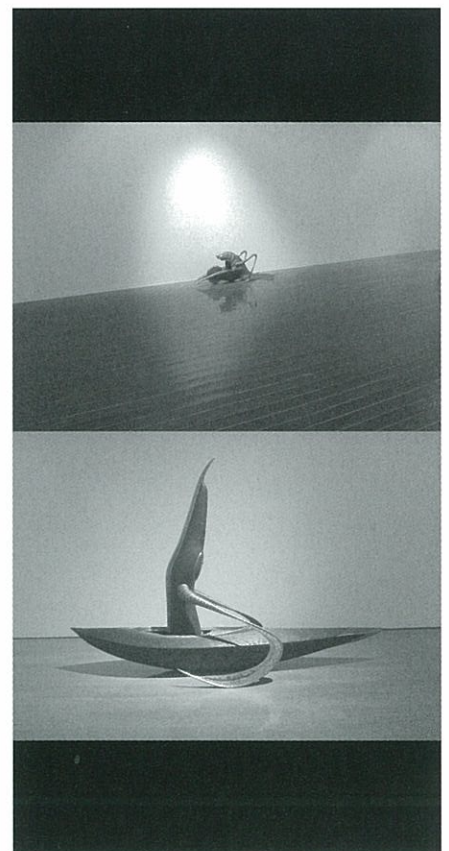
第3回目となる今回は、鉄と木を主な素材として機械的な生命体やオブジェを制作する彫刻家・首藤晃(1969～)の作品を紹介します。北海道北広島市出身の首藤は、弘前大学卒業後、青森を拠点に制作活動を展開し、現在は再び道内にその拠点を移しています。首藤が一貫して創造しているのは、私たちの認識している現実世界とは異質な世界像であり、その作品は、異世界との橋渡しを執り行うシャーマニスティックな役割を担っているかのようです。

「再生」をテーマとする本展では、首藤が青森滞在時に制作した作品を中心に構成し、新たな作風の展開を予感させる新作も紹介します。個の存在を超えた集散的な無意識、神話、夢、そして狂気といった人間の原初的なイメージを喚起する独創的な作品世界をご堪能ください。

PROFILE

首藤 晃 プロフィール

- 1969年 北海道生まれ
- 1995年 「第6回しのばずオブジェフェスティバル」(東京上野公園) 読売新聞奨励賞
- 1999年 「あおり野外彫刻展'99」(青森市) 模型大賞
- 2000年 個展(What's Art Gallery/仙台市)('00,'03)
- 2002年 個展(リアス・アーク美術館/気仙沼市)
「東日本—彫刻」(東京ステーションギャラリー) 作品買い上げ
- 2005年 平成17年度文化庁新進芸術家国内派遣研修員
個展(国際芸術センター青森/青森市)
個展(メタル・アート・ミュージアム 光の谷/印西市)
- 2006年 個展(INAXギャラリー2/東京京橋)
- 2007年 個展(北網圏北見文化センター・美術館/北見市)
「奥の若手道～東北・北海道の明日～」(リアス・アーク美術館、巡回/函館、北見、鶴岡)
- 2008年 個展(ギャラリー・オカベ/東京銀座)('08,'11)
「トンちゃんアート展 ハコビでBoo!!」(北海道立函館美術館)
- 2009年 個展(青森県立美術館/青森市)
- 2011年 個展(奈義町現代美術館/岡山県奈義町)
「Design Saves Lives」(MAD museum/New York)
- 2012年 「つながるけしき」(岡山芸術回廊特別展/岡山後楽園)
- 2013年 「Power of Japan and Cool Japan at Teltow」(Neues Rathaus/Teltow, Germany)
「明日の表現を拓く」(小松市立宮本三郎美術館、世田谷美術館分館宮本三郎記念美術館)

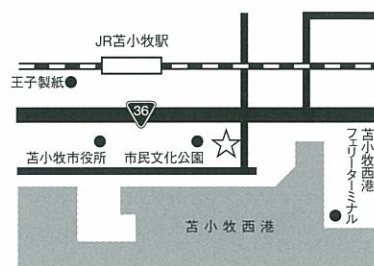


上:「RUN(騒音を速く走る)」2011年 100×40×40(cm) 鉄、木
下:「境界を行く」2009年 125×190×60(cm) 鉄、木、ウレタン

||||| 苫小牧市美術博物館

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9-7
TEL 0144-35-2550 FAX 0144-34-0408
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

◎次回「中庭展示」Vol.4—千代 明
■会期:2014年9月27日(土)～2015年1月25日(日)
※会期は予告無く変更する場合がございます



◎関連イベント

首藤 晃 アーティストトーク

■日時:2014年5月3日(土) 13:30～15:00
■場所:苫小牧市美術博物館 研修室A(聴講無料・申込不要)

巡回展[函館]

■日時:2014年8月22日(金)～9月3日(水) 11:00～17:00
■場所:ギャラリー三日月/函館市弥生町23-1[木曜定休]